18　文章作成の実際⑵　②主題分析で材料をそろえる　③構想表を作る［構成］

　この章では、文章を書く手順

　①主題を決める。

　②主題を分析して材料をそろえる。

　③材料の順序を考えて構想表を作る。

　④構想表をもとに文章を書く。

の②③の学習をします。

　主題（筆者が言いたいこと）をただ述べるだけでいいでしょうか。読んだ人に自分の気持ちや考えを理解してもらいたいと思いませんか。場合によっては、自分と一緒に行動してほしいとか、自分のために何かしてほしいとか、訴えることが必要な場合もあります。

　読み手に理解してもらい、納得してもらうには、主題そのものだけを述べるのでなく、主題を丁寧に説明する材料をそろえなければなりません。

　そして、その材料をどの順番で述べるとわかりやすいかを考えます。その順番を表にしたものが構想表です。

主題分析をする

　主題の言葉を手がかりに、どんなことを述べる必要があるかを考える。

例

【主題】プレゼンテーションをするときは、十分な準備をするべきだ。

【分析例】

❶主題のために、述べる必要のあること。

　Ａ「十分な準備」とはどういうことか。

　Ｂなぜ、準備が必要なのか。

　Ｃ十分な準備をするべきだ。（意見）

❷右のＡ～Ｃからさらに思いつくこと。

　Ａ①話す時間配分まで決めておく。

　Ｂ①準備不足で失敗した。（経験）

　Ｂ②十分な準備ができていると、安心して発表できる。（理由）

構想表を作る

　主題分析で得た❶と❷から必要なものを選んで、順序を考えて並べる。

　【構想表】

　Ⅰ　Ｂ①準備不足で失敗した。（経験）

　Ⅱ　Ｃ　十分な準備をするべきだ。（意見）

　Ⅲ　Ｂ②十分な準備ができていると、安心して発表できる。（理由）

レッスン１　次の主題の文章を書くとすれば、文章の中で、どのようなことを述べる必要があるか。次ページ上段の説明を参考に思いつくことを箇条書きに書き出してみよう。

【主題】歩きながらスマートフォンを使うのはよくない。やめさせるための対策を実施すべきだ。

【主題分析】

　①主題のために、述べる必要のあることがら。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 例　・歩きながらスマートフォンを使うのは、どのような場合か。 |

　②右の項目からさらに思いつくこと。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  | った人を見た。 | 例　・駅のホームでスマートフォンを見ながら歩いていて、人にぶつかって、そのはずみで線路に落ちそうにな |

レッスン２　次の主題の文章を書くために主題分析をした結果、後の⑴～⑷の項目が得られた。これをⅠ経験（事実）、Ⅱ意見、Ⅲ理由に分け、構想表に番号を書きなさい。

【主題】旅行に出かけたとき、写真に撮っておくと、その旅行での楽しい思い出を残すことができる。だから、旅行にはカメラを持って行くのがよい。

〈述べる必要のあることがら、さらに思いついたこと〉

⑴　昔の旅行の写真を久しぶりに見た。すると、そのときの食事のおいしさ、景色のよさに感動した気分がよみがえってきた。

⑵　机の整理をしていると、旅行のとき、友達と一緒に泊まった旅館の部屋の写真が出てきた。それを見て、どんな話をして盛り上がったかということまで思い出した。

⑶　旅行の写真があると、ずっと後まで思い出を残しておける。忘れていたことさえも思い出すことができる。

⑷　旅行の思い出を残すためには、旅行にカメラを持って行くべきだ。

【構想表】

　Ⅰ［　　　　　　　　　　］（経験・事実）

　Ⅱ［　　　　　　　　　　］（意見）

　Ⅲ［　　　　　　　　　　］（理由）

【解答】

レッスン１（例）

　①・なぜ歩きながらスマートフォンを使うのはよくないかの説明。

　　・やめさせるための対策を実施することが必要な理由。

　　・やめさせるための具体的な案。

　②・自分が危ないだけでなく、他人をも危ない目に合わせる可能性がある。

　　・意識に訴えるだけではなくなりそうもない。

　　・駅なら注意の放送を繰り返し流し、道路では警察官が声をかけるなどの実質的な対策をするのがよい。

レッスン２

　Ⅰ＝⑴または⑵　Ⅱ＝⑷　Ⅲ＝⑶